昇 降 式 移 動 足 場
『ハイスター』取扱説明書

平成　１８年　１２月

日鐵住金建材株式会社

目次

使用上の基準 ---------- 1

仕様・組立図 ---------- 2

組立手順 ---------- 3

上昇手順 ---------- 5

下降手順 ---------- 6

横移動 ---------- 6

解体手順 ---------- 6

メンテナンス ---------- 7

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

使用基準

1．ハイスターを使用するにあたって

（1） 作業者には、あらかじめ安全な使用についての教育を行うこと。
（2） 複数の人数で使用するときは、作業を指揮する者を選任し、その者に作業を指揮させること。
（3） 手摺、中桟等を止むを得ず取り外したときは、安全帯の使用等墜落による作業者の危険を防止するための措置を講ずること。なお、取り外した手摺等は、その必要がなくなったとき速やかに元の状態に戻すこと。
（4） 作業中は保護帽を着用すること。また、安全帯の使用を命ぜられた場合には、安全帯を使用すること。
（5） 作業中に関係者以外の者が、作業区域内に立ち入ることによる危害を防止するため、その周辺には柵、囲い又は標識等により立ち入り禁止区域を明示すること。
（6） 作業を安全に行うため、作業に必要な照度を確保すること。
（7） 目的外の用途には使用しないこと。

2．ハイスターは、みだりに分解・組立を行わないこと。

3．ハイスターの移動にあたって

（1） 原則として作業床を最低の高さに下降させた後に行うこと。
（2） あらかじめ、床面の凹凸、障害物等の状態を確認し、移動中の転倒を防止すること。

4．ハイスターの設置にあたって

（1） 傾斜している場所、段差や凹凸などにより安定しない場所、不意の移動、沈下等の恐れのある場所に設置しないこと。

5．ハイスターに荷を積載する等にあたって

（1） 最大積載荷重の表示を確認し、これを超えないこと。
（2） 材料等を載せるときは、転倒防止のため偏心しないように配慮すること。
（3） 手摺・幅木等に荷を載せないこと。

6．禁止事項

（1） 積載荷重を超えて使用しないこと。
（2） 作業者を乗せたまま移動しないこと。
（3） 車輪のブレーキを効かせずに使用しないこと。
（4） アウトリガーを正規の方向に広げずに使用しないこと。
（5） 複数のハイスターを併置し、その上に足場板等を掛渡して作業床として使用しないこと。
（6） 作業床上では、脚立、梯子等を使用して作業しないこと。
（7） 手摺、中桟、及び幅木に乗らないこと。
（8） 作業床への乗り降りは最低地上高さまで下降させた状態で行なうこと。万一故障等により上昇した状態で乗り降りする場合は、必ず妻面側（短辺）のガイドポストを利用すること。上昇させた状態で桁行側（長辺）から乗り降りしないこと。
（9） ガイドポストを取り付けないで使用しないこと。
（10）上昇・下降時に、摺動部等に触れないこと。

ハイスター　作業の安全性と効率化を追求する

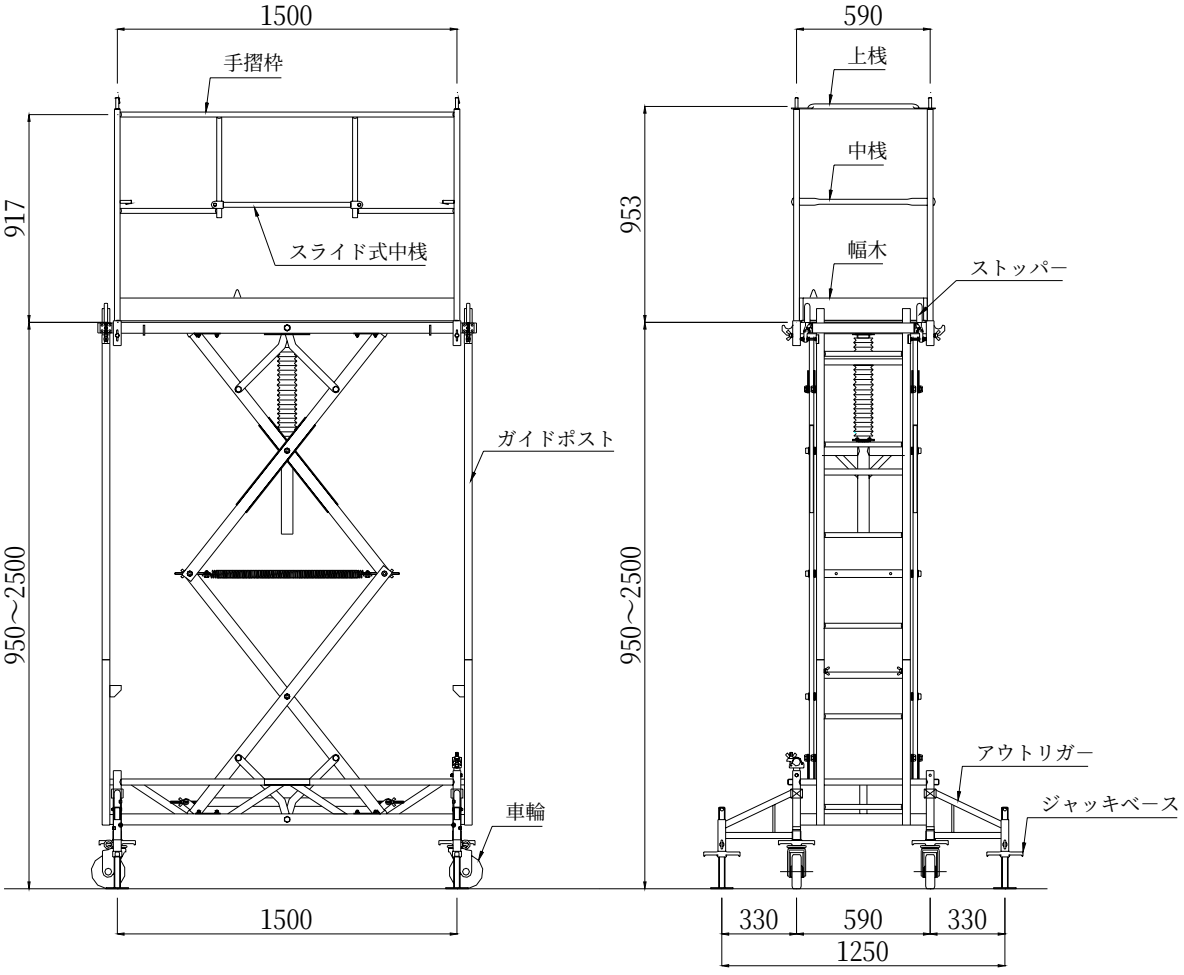
高所作業から天井仕上げ作業まで、あらゆる作業に適した高さが、簡単に・能率的にかつ安全に確保できます。
軽量で強靭性に優れ、しかも、１人で操作が出来るように設計された昇降式移動足場です。

仕様

作業床寸法	幅　　590㎜ 長さ 1500㎜
作業床高さ	最低地上高　950㎜ 最高地上高 2500㎜
自　　重	約 196kg（手摺材・幅木材を含む）
昇降装置	手動ハンドル式 （スクリュージャッキ+バネバランス方式）
積載荷重	1310N（133kg）
上昇所要時間	約 35 秒
表面処理	溶融亜鉛めっき（一部電気めっき）

品番

ＵＳ－２５



組立手順

1．組立前の注意事項

（1） 組立作業主任者は、作業員の保護帽の着用等安全服装を確認のうえ、作業内容、安全上の諸注意を説明し徹底させる。

（2） 使用場所の平坦度及び、上空空間の安全性を確認し、使用高さ（９５０～２５００mm）を決定します。

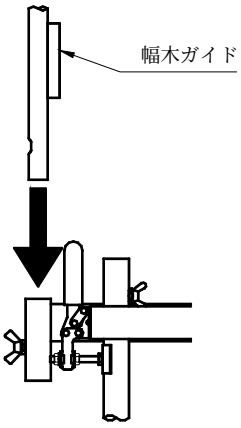
2．組立手順

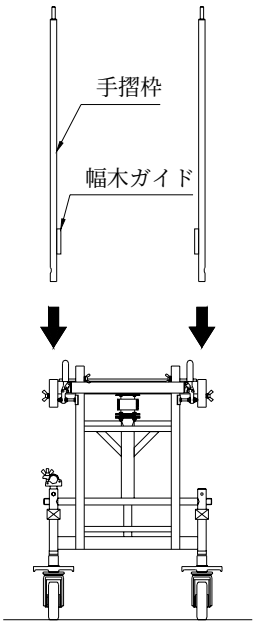
（1）ハイスターの設置

ハイスターを所定の位置まで移動させ、車輪のブレーキを効かせます。このときハイスターの作業床レベルが水平になっていることを確認して下さい。

（2）手摺枠の取り付け

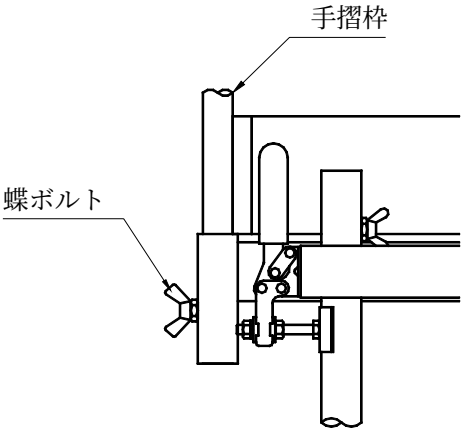
手摺枠を幅木ガイドが内側方向を向くように、作業床四隅のパイプに差し込みます。

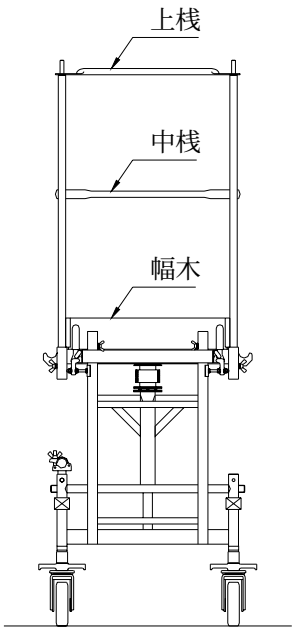




（3）手摺材の取り付け

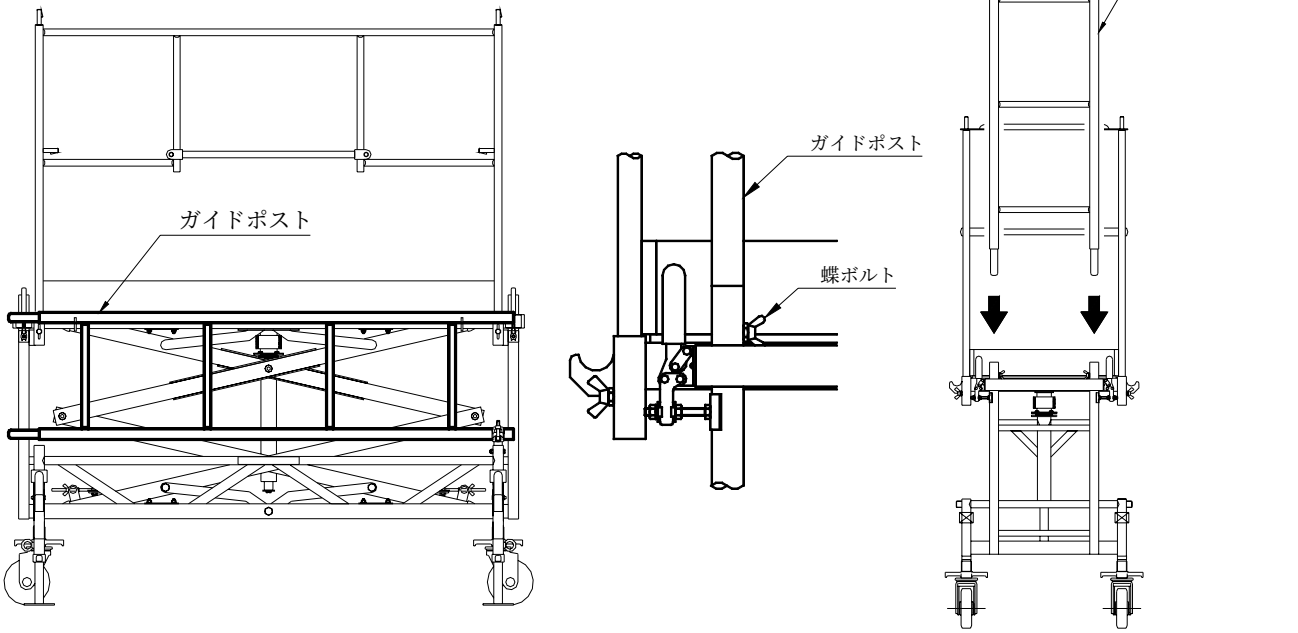
妻面側の手摺材（上桟、中桟)、幅木を手摺枠にセットし、最後に手摺の揺れを防止するため蝶ボルトを締め付けます。





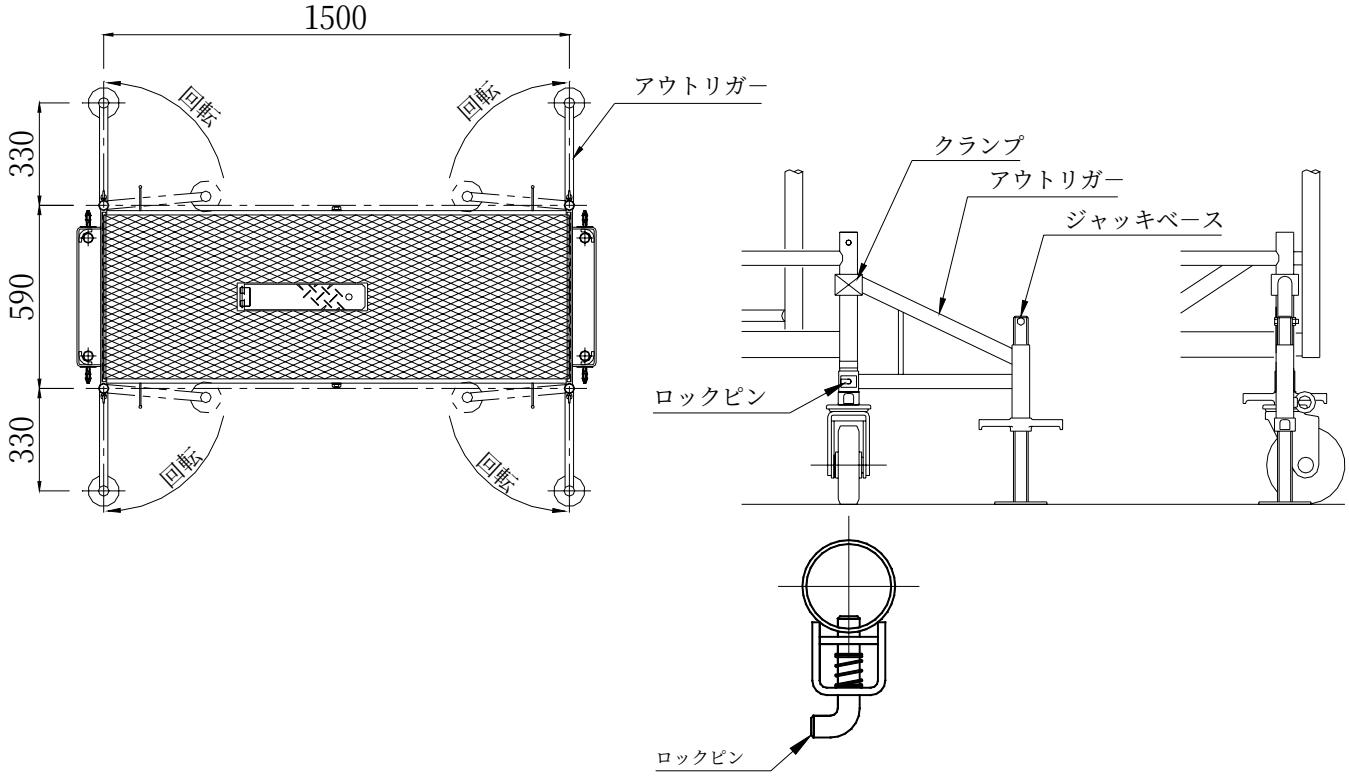
（4）ガイドポストの取り付け

本体に収納されているガイドポストを取り出し､本体妻面側のガイドポスト取付部に差し込みます｡続いて揺れ防止のため蝶ボルトを確実に締め付けます。



（5）アウトリガーの設置

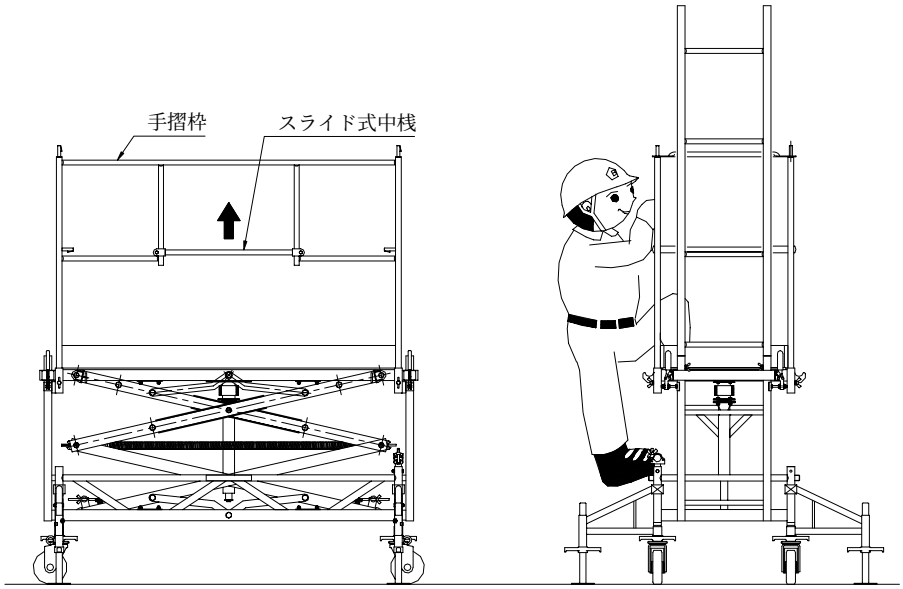
アウトリガーを所定の方向（アウトリガーロックピンが作動する位置）に回転させ、アウトリガーのクランプを確実に締め込み固定します。アウトリガーを収納するときは、クランプを緩め、ロックピンを摘みロックを解除してから回転させて下さい。ハイスター本体が水平となるように、４本の車輪のジャッキハンドルにて調節します。（アウトリガーは**転倒防止を目的**としています）



3. 上昇手順

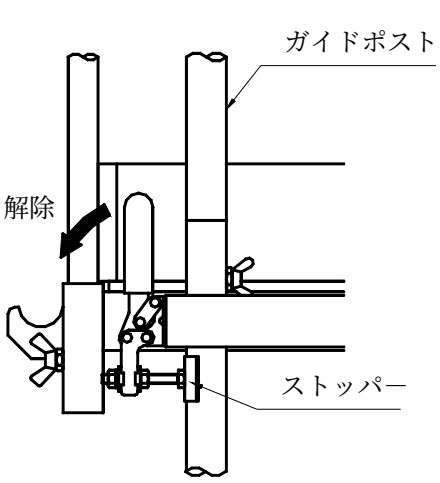
（1）作業床への乗り降り

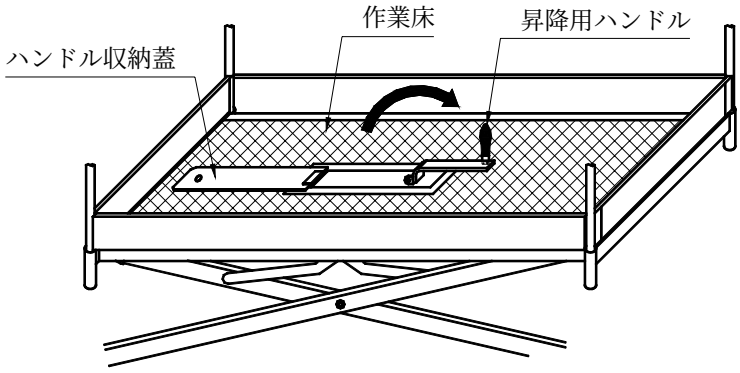
作業床へは、作業床を最低地上高さ（950㎜）まで降下させた状態でスライド式中桟を持上げて乗り込みます。作業床を上昇させた状態で桁行側（長辺）から乗り降りしないで下さい。



（2）作業床の上昇

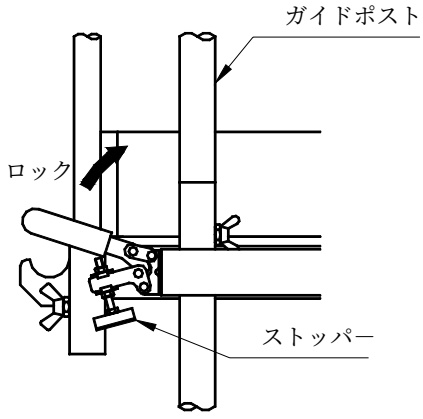
作業床四隅のストッパーを解除し、作業床面の蓋を開け昇降用ハンドルを取り出します。ハンドルを回し（時計回り）所定の位置まで上昇させます。上昇後は、昇降用ハンドルを収納し蓋を閉めます。





（3）作業床の固定

作業床の位置が決定しますと作業床の揺れを防止するため四隅のストッパーをロックし上昇操作は完了です。（昇降操作をするときは必ず**作業床四隅のストッパーを解除**してから行なって下さい）



４．下降手順

下降操作は上昇操作の逆の手順で行います。

（１）ストッパーの解除

作業床四隅のストッパーを解除して下さい。（ストッパーを効かせたまま昇降操作を行いますと故障の原因となります。）

（２） 作業床面の蓋を開け昇降用ハンドルを取り出します。ハンドルを回し（反時計回り）所定の位置まで下降させます。下降後は、昇降用ハンドルを収納し蓋を閉めます。

５．横移動

横移動される場合は、次の手順です。

（１） 原則として作業床を最低の高さ（950㎜）まで下げてからアウトリガーのジャッキベースを上げます。

（２） アウトリガーのクランプを緩めてロックピンを摘みロックを解除してからアウトリガーを折り畳み、キャスターのブレーキを解除して所定の位置に移動します。

（３） 移動に関しては、ガイドポスト、手摺枠等が干渉しないよう天井上空空間の安全性を確認して行って下さい。（必要に応じ取り外して移動させて下さい）

（４） 作業者を乗せたまま、移動させないでください。

６．解体手順

解体手順は、組立作業の逆の手順で行います。

メンテナンス

1．日常点検

（1）使用に当たっては、部材の点検を行い不具合部は、補修または取り替えを行い使用する。

（2） バネは、出荷時調整しておりますが、作動状況を確認し、動作不良の場合は下記の通り調節して下さい。

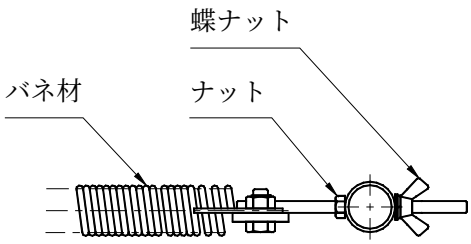
① バネを調節する場合は、作業床を上昇させバネ張力が弱い状態で調整します。

② バネ取付部の蝶ナットと内側のナットを緩めてから、蝶ナットにてバネ材の調節を行って下さい。

上昇が困難な場合：バネを引き込みます

降下が困難な場合：バネを緩めます

③ 内側のナットを締めて（緩み止め）完了します。



（3）スクリュージャッキ部には、防錆潤滑剤（呉工業製 スーパー5-56 相当）を塗布して下さい。

2．保管

（1）保管は屋内保管とし、屋内保管が困難な場合は、シート等により養生して下さい。

（2）特に、回転部・スライド部の管理に注意して下さい。

以上